

第5次釧路町総合計画（町民意見反映）

結果報告

町民インタビュー

第4回 → 釧路公立大学生



□開催データ

- 開催日時：平成23年1月14日（金）14：00～15：10（1時間10分）
- 開催場所：釧路市北大通 カフェ・ラッチョ（公立大学生経営喫茶店）
- 出席者：釧路公立大学 学生4名
- 聞き手：佐藤広高 釧路町長

□開催目的

第5次総合計画の策定にあたり、より多くの町民の皆様からご意見をいただく「町民参加」の一環として開催するものです。

その第4回として釧路公立大学に就学されている学生のうち釧路町にお住まいの学生皆さんのから、ご意見をいただき策定に反映させるべく開催しました。

釧路町総合計画策定会議 事務局

釧路町の印象について

☺ 「湿原のまち」というイメージをもっています。

釧路町は湿原に代表される自然豊かさを持っているというイメージです。

☺ 若い人が少なくなっていることを感じています。

また、高齢化が進んでいるというイメージをもっています。

近所にグループホームができたことと、自分の小・中学生の頃のクラスの人数が一番少ない時期だったのではないかということからそう感じるのかもしれませんが。

でも、私は自分の住んでいる別保が大好きです。

☺ 釧路町は「住みやすいまち」だと感じています。

人を惹きつけるものはこれとってないかもしれませんが、「住む」「暮らす」には良いまちではないかと思っています

住みやすいと感じていますが、裏をかえすと目玉になる大きな決め手がないように気がします。釧路町には人を呼べる要素いろいろあると思いますのでもったいように思います。

☺ 私は、遠矢に住んでおり買い物の部分で不便さを感じます。

買い物環境は、地域によって便利さに差があるのではないかと思います。

遠矢では、買い物のための移動に30分位かけないとできないという部分がデメリットだと思います。

反面、メリットとしてはやはり自然の豊かさではないかと思っています。



これからの釧路町について

☺ 高齢者の移動手段としての買い物バスの充実があるといいのではないかと思います。

また、若者目線では釧路市の末広のような歓楽街があるといいのではないかと思います。

将来に向けた問題としては、若者の就労先がないということが、大きな問題ではないかと思っています。



☺ 現在の学校の教育は、釧路から離れるような教育なのではないかと感じています。

学校の教育全体が、地域への愛着を育むものや地域に根付いたものになってほしいと思います。

自分は、将来、釧路で起業したいとも考えているので、その部分でのサポートが充実することいいのではないかと思います。

☺ 私の友人もそうですが、全体的に漠然と「釧路から出たい」と思ってしまうように感じます。

「釧路はつままない、遊ぶところがない」と思ってしまうようです。

他の地域から来た人にも「つままないところ」という印象をもたれてしまうようです。

しかし釧路にはいいところもたくさんあるので、もっと人が集まり、そして出ていかなくなる、釧路から出た人も何かを学んで戻ってくるような取組みが必要ではないかと思えます。

私の住んでいる別保では、広場づくりやイルミネーションで取組みをしており、町も協力的な印象なので、そういった地域の活性化を広げていけばいいのではないかと思えます。

- ☺ 少子高齢化の原因として、若者の働く場所がないことにより、釧路から人が出て行ってしまっていることが原因なのではないかと思えます。

釧路の若い人は釧路が大好きですが、地元で働くところがないために外へ外へ行かざるをえなくなっています。

釧路で本当は働きたいという希望を持っていますが、厳しい現状があります。

地元で安定した雇用がなければ、住民の減少には歯止めがかからないのではないかと思えます。

また、釧路町を知る機会がないのではないかと思えます。

釧路町のことを知る媒体が少ないような気がします。

インターネットで知ったとしても、偶然に知るというケースが多いように思えます。

- ☺ 例えば別保公園を「道の駅」として、町の特産品の販売をすることで町のアピールすることで集客効果があるのではないかと思えます。



「地元」の範囲について

- ☺ 自分の中の地元は「釧路町」というより「釧路」というイメージです。釧路町と釧路市の両方であり、境目は感じていません。

- ☺ 「釧路町」というきっちりした垣根は考えていません。

市と町で、生活圏でも境目という意識はありません。

- ☺ 大学生の中でも、釧路市と釧路町の違いがわからない人が多いと思えます。「生活圏」として見ていますので分けて考えにくいです。

- ☺ 私も旧釧路市と釧路町が「地元」という認識です。

ポスフル周辺を釧路市と考えている人もいるくらいなので境目を理解している人は少ないのではないかと思えます。



皆さんのご意見を聞いて、釧路市も釧路町もがんばることにより、若者の就職の場も拡大できるのではないかと感じました。

また、1回外に出て釧路町を見て、帰ってきたときに仕事場があればいいと思うというご意見がありました。

昔は、中央に行くことが当たり前という考え方でしたが、今は地元で働きたいという考えが多いということがわかりました。(町長)



買い物難民について

☺ 先ほど地区によっては買い物がしづらいというお話がありました。

今、「買い物難民」という言葉がありますが、対策として若い皆さんのアイデアをいただけませんか？（町長）

☺ 私は、車を運転するので不便は感じませんが、お年寄りの立場にたって考えると笠井商店がなくなって相当不便ではないかと思います。東陽に新しく大きなお店が出店しますが、その店へのアクセスができれば別保のお年寄りも買い物ができるのではないかと思います。

ニュースでボランティアの学生が、お年寄りの買いたいものを聞いて買い物をしてきてあげるという取組みを放送していました。

ボランティアでの買い物支援ができるといいのではないかと思います。

☺ 生協の「トドック」のような宅配での対応がいいのではないかと思います。

自宅に届けることで安否確認もできるのではないかと思います。

☺ 高齢者の生活という視点でいけば、やはり近いところで手に入るような形がいいのではないかと思います。

遠矢では、コンビニしか近所がないので、日用品を買うためには高齢者の場合はバスやJRに乗らなければならないです。

やはりスーパーのようなものを誘致できればいいのではないかと思います。



今後、町では「買い物難民」を救うための方法を模索したいと考えています。

買い物難民を支援するにあたっては、ボランティアでいいのかという問題がありますが、また段階を追って考えていくべきものと考えています。

高齢者は多少高くても、自分で買えるのであれば買うという傾向があるとテレビで見ました。買い物に不自由している高齢者を集めて来てもらうやり方もあるのではないかと思います。（町長）

今後の抱負について

☺ 私は、釧路からは1度出ることになりますが、何億も稼いで釧路で何億も使って還元できるようにしたいと思っています。

☺ 私も釧路から1回出てみたいと思っていますが、何かを得て、また釧路に戻ってきたいと思っています。

☺ 私は、就職先が札幌なので釧路から出ることが決まっています。釧路に支社がありますので、釧路に戻ってくる可能性もあります。

とにかく一生懸命働きたいと思っています。

今回、こういった機会を設けていただいて、「釧路町」を意識することができました。

今後、高校生にも同じような町民インタビューを実施されるということですので、高校生もあらためて町に対する意識がもてるのではないかと思います。

こういった場があることで、町民の意識も変わるのではないかと思いますので、このような機会をたくさん増やしていただければと思います。

😊 今回、釧路町の知らない部分を知ることができたと思います。

これからは、自分が今まで知らなかった釧路町について改めて見ていきたいと思いました。

これからも、釧路町への意識をもっていきたいと思っています。

町民インタビューむすび

現在策定作業を進めている総合計画は、10年後の未来に向けて策定作業を進めています。

これから10年後といいますと、皆さんは30代になられていますが、将来、子育てをされている時期、働き盛りの時期になっている未来の釧路町について、貴重なご意見をいただきました。

今後「住み続けたい」まちをつくるために、皆さんからいただいたご意見を踏まえ計画づくりを進めて参りたいと思います。(町長)

